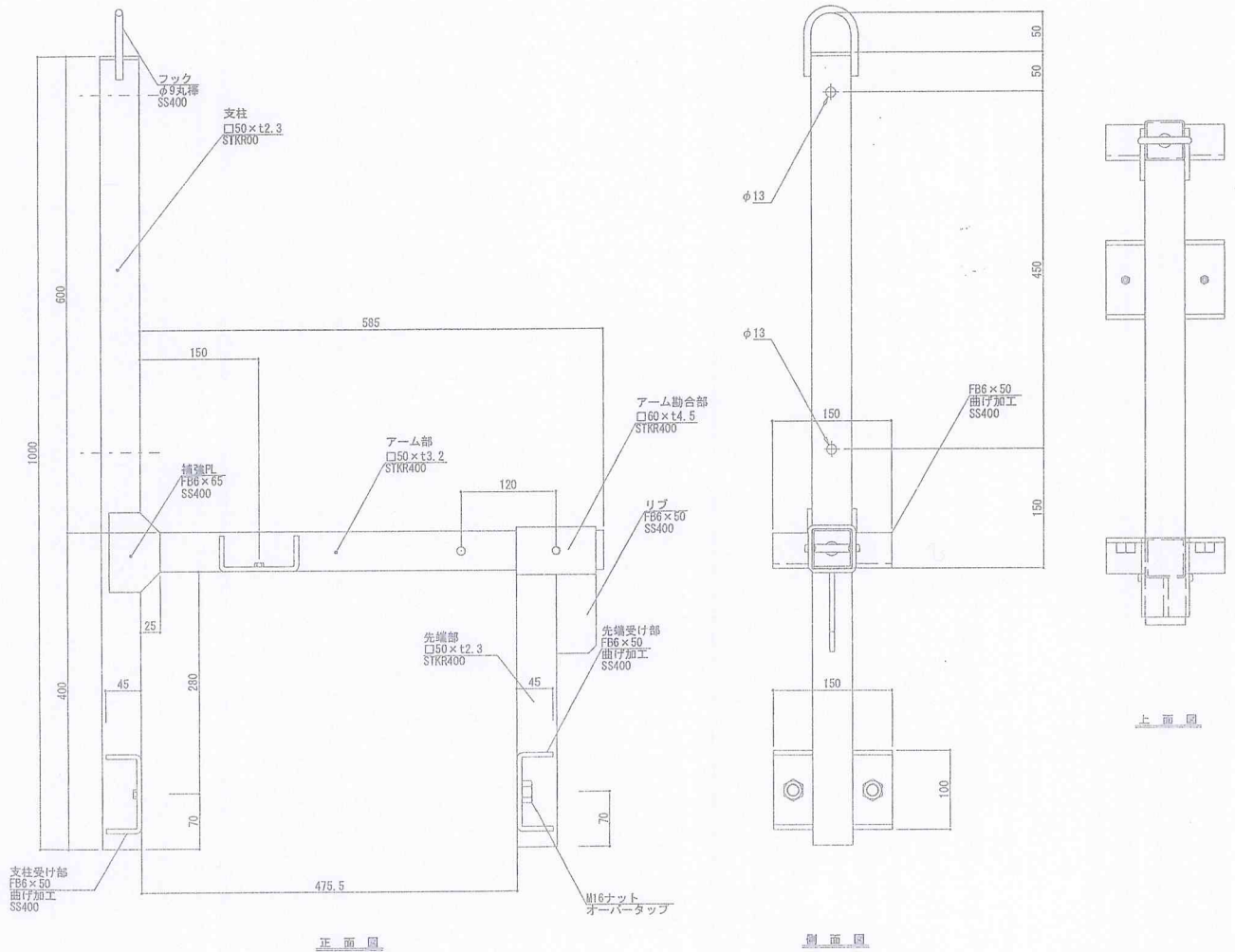


品質性能試験報告書

試験名称	落下防止金物「パラペット用スタンション スタンダードタイプ」の引張試験			
依頼者	株式会社 増建			
試験体 (依頼者 提出資料)	試験体 記号	寸法 mm	主な構成材 mm	数量
	S	150×635×1000	支 柱：寸法；50×50×t2.3, 長さ；1000 支柱受け部：寸法；100×150×45, 板厚；6 補強プレート：寸法；100×65, 板厚；6 アーム部：寸法；50×50×t3.2, 長さ；585 先端部：寸法；50×50×t2.3, 長さ；350 先端受け部：寸法；100×150×45, 板厚；6 アーム勘合部：寸法；60×60×t4.5, 長さ；100 リ ブ：寸法；50×100, 板厚；6	1
参 照：図-1 (試験体)				
試験方法	概 要：固定台と試験体の支柱受け部をM16全ねじボルトを使用して固定した後、アイボルト及びシャックルを介して、試験体の先端受け部に鉛直上向きの荷重を破壊に至るまで連続的に加えた。 試験装置：200kN自動コントロール式加力試験機 参 照：写真-1 (試験方法)			
試験結果	試験体 記号	最大荷重 (Pmax) kN	破壊状況	
	S	18.2	アーム部及び先端部の曲げ変形	
参 照：写真-2～写真-3 (破壊状況)				
試験期間	平成25年 5月10日			
担当者	構造グループ 統括リーダー 川 上 修 主 任 守 屋 嘉 晃 (主担当) 宮 下 雄 磨 小 山 博 由			
試験場所	中央試験所			

単位mm



(依頼者提出資料)

図-1 試験体

試験体記号：S

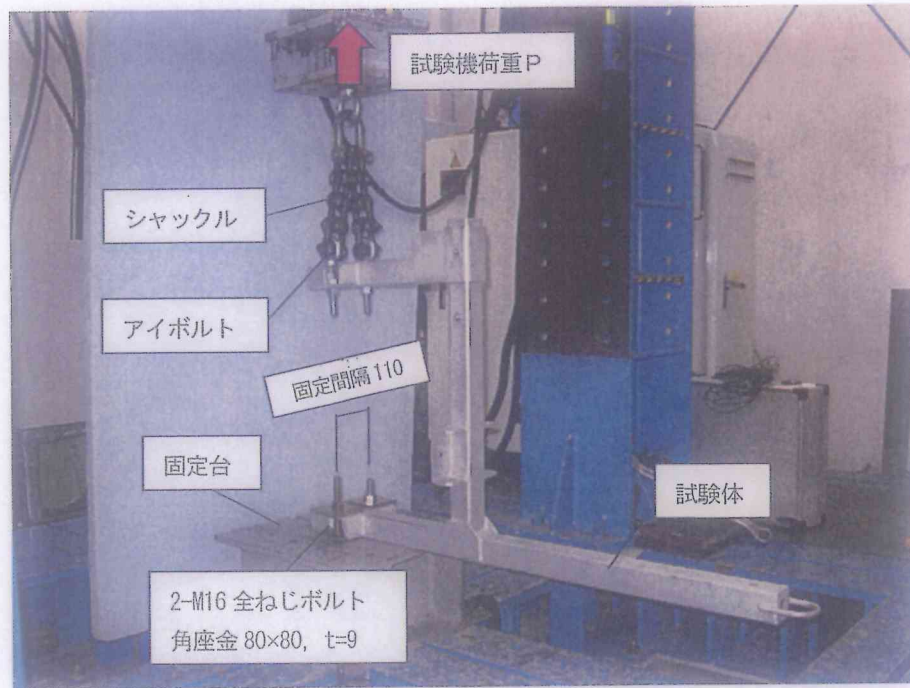


写真-1 試験方法

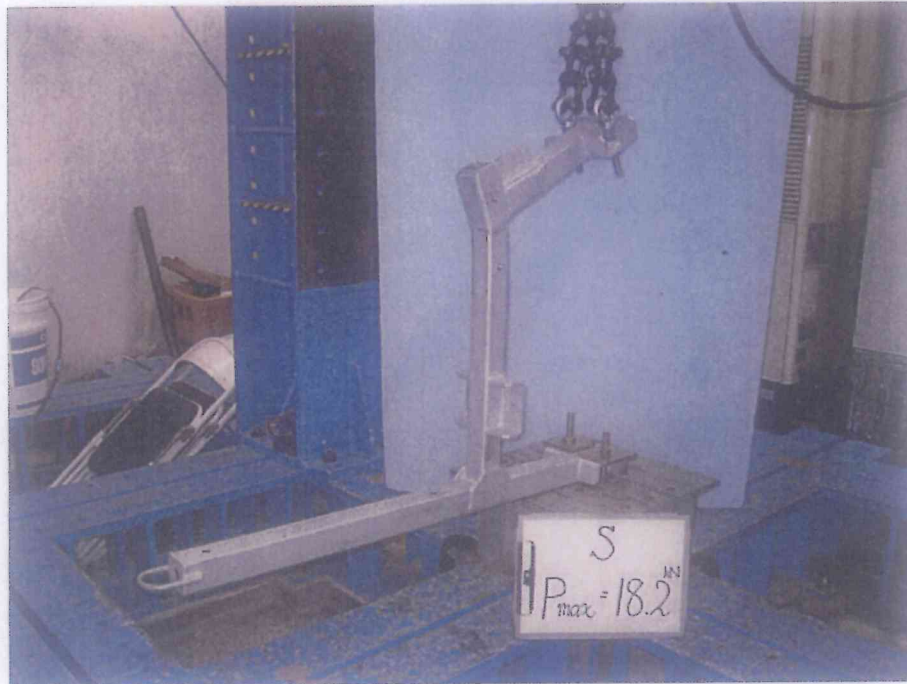


写真-2 破壊状況

試験体記号：S

$P_{max}=18.2\text{kN}$

・全 景

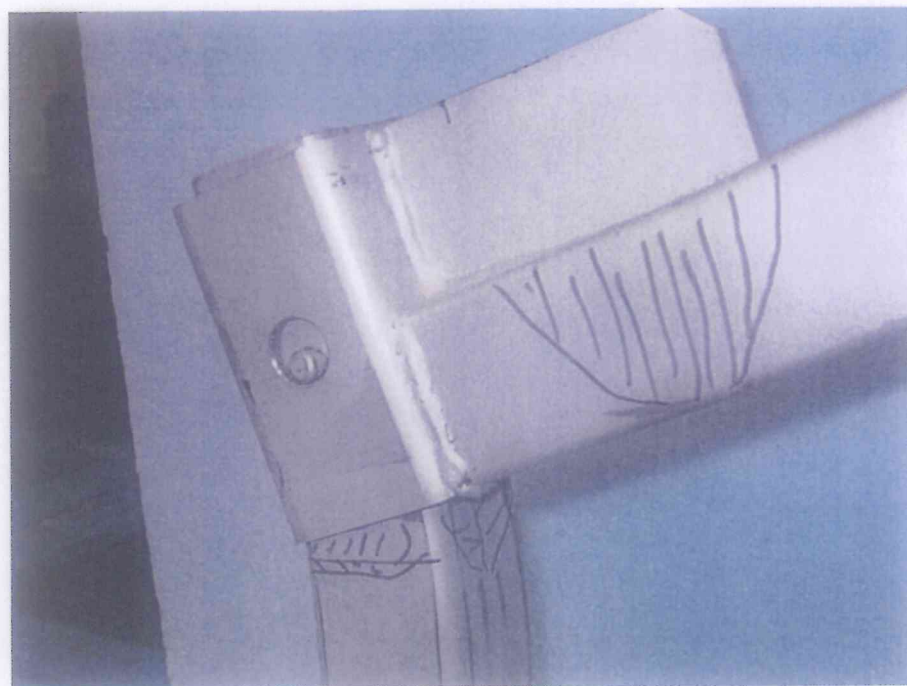


写真-3 破壊状況

試験体記号：S

$P_{max}=18.2\text{kN}$

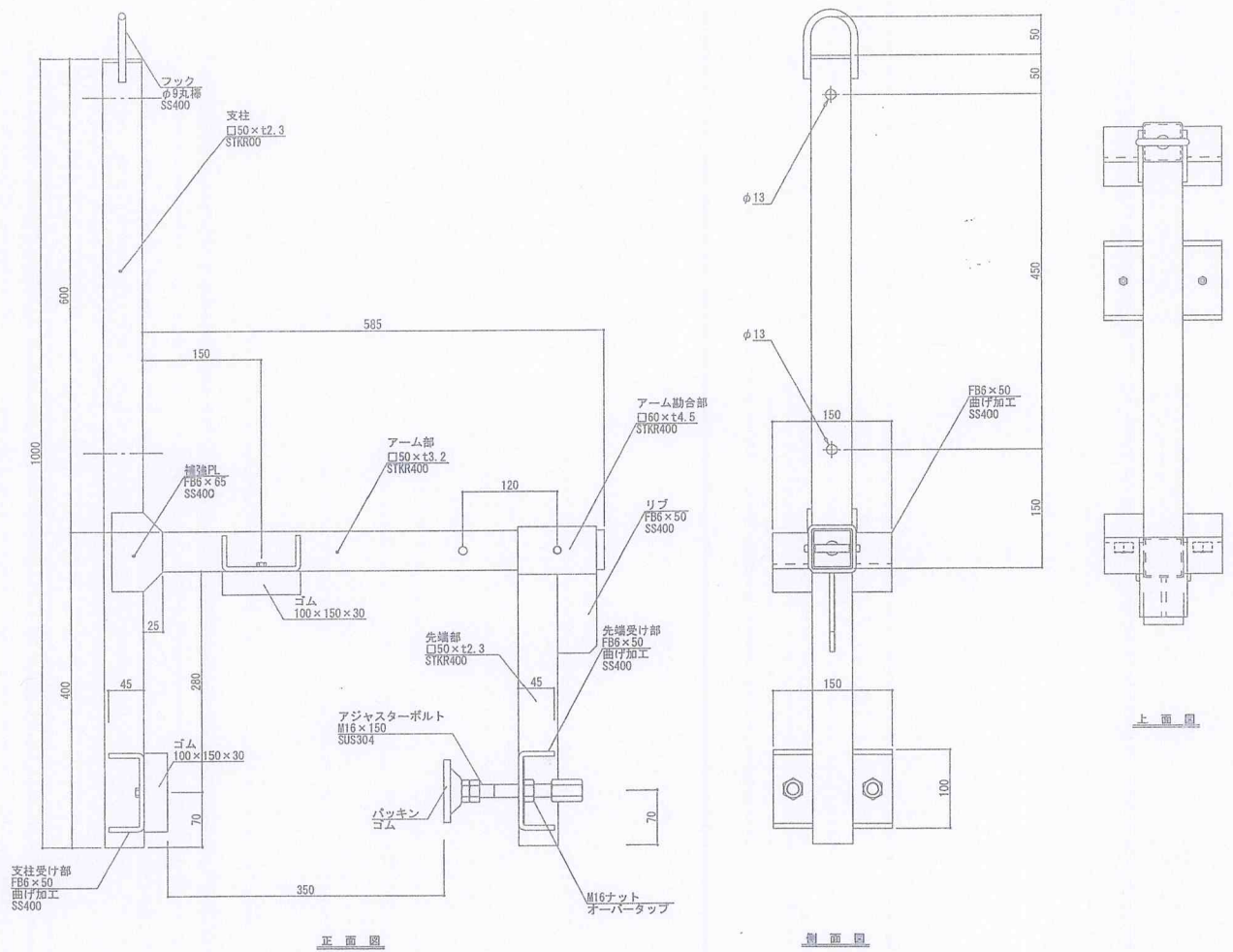
・アーム部及び先端部の曲げ変形

以下余白

品質性能試験報告書

試験名称	落下防止金物「パラペット用スタンション スタンダードタイプ」の水平加力試験				
依頼者	株式会社 増建				
試験体 (依頼者 提出資料)	試験体 記号	寸法 mm	主な構成材 mm		数量
	S-H-A	150×635×1000	支 柱：寸法；50×50×t2.3, 長さ；1000 支柱受け部：寸法；100×150×45, 板厚；6 補強プレート：寸法；100×65, 板厚；6 アーム部：寸法；50×50×t3.2, 長さ；585 先端部：寸法；50×50×t2.3, 長さ；350 先端受け部：寸法；100×150×45, 板厚；6 アーム勘合部：寸法；60×60×t4.5, 長さ；100 リ プ：寸法；50×100, 板厚；6 アジャスターボルト：M16, 長さ；150, 外径；75		1
	S-H-B		1		
参 照：図-1 (試験体)					
試験方法	<p>概 要：固定台に試験体を締め付けた後、アイボルト及びシャックルを介して、支柱頂部に水平方向の荷重を加えた。ここで、試験体記号S-H-Aは、試験体を固定台に締め付ける方向に対して平行方向に、試験体記号S-H-Bは直交方向に加力を行った。加力は単調加力とし、試験体が破壊するまで又は支柱頂部の水平変位が250mmに到達するまで行った。測定は支柱頂部の水平変位について行い、試験体の状況を目視により観察した。</p> <p>試験装置：100kN自動コントロール式加力試験機 (容量：50kN) 測定装置：巻込型変位計 (容量：1000mm, 感度：5×10^{-6}/mm, 非直線性：0.3%R0) 参 照：写真-1 (試験方法)</p>				
試験結果	試験体 記号	最大荷重時		破壊状況及び試験体の状況	
		荷重 (Pmax) kN	変位 DG1 mm		
	S-H-A	1.5	45.4	アジャスターボルトゴムパッキンのはずれ	
S-H-B	1.7*	249.2*	アジャスターボルトゴムパッキンのはずれ*		
(注) 表中の*は最高載荷荷重時の荷重、変位及び試験体の状況を示す。 参 照：図-2 (荷重-変位曲線) 写真-2～写真-5 (破壊状況)					
試験期間	平成25年 5月31日				
担当者	構造グループ 統括リーダー 川 上 修 主 任 守 屋 嘉 晃 (主担当) 小 山 博 由				
試験場所	中央試験所				

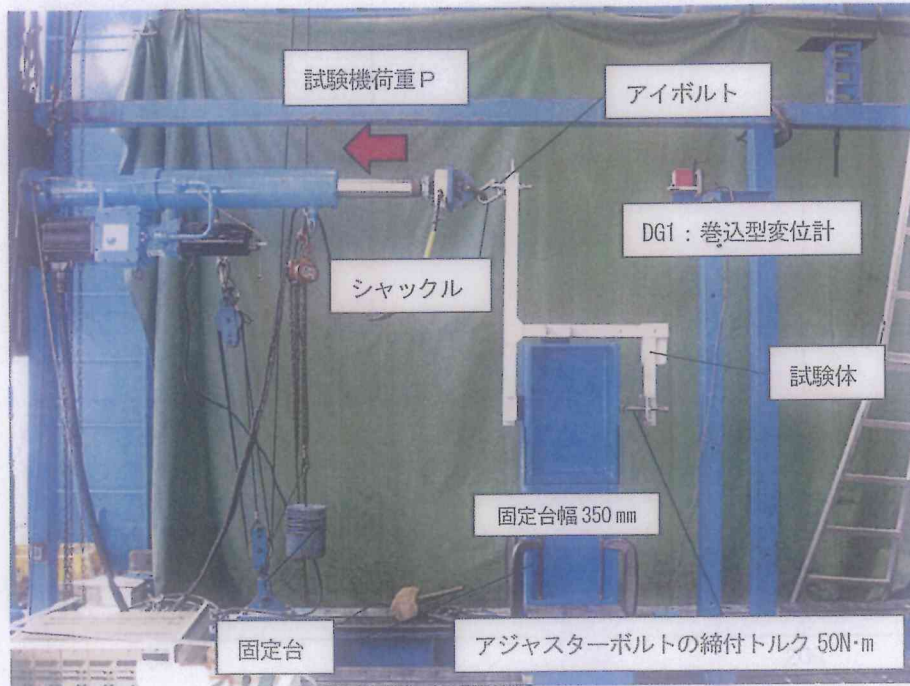
単位mm



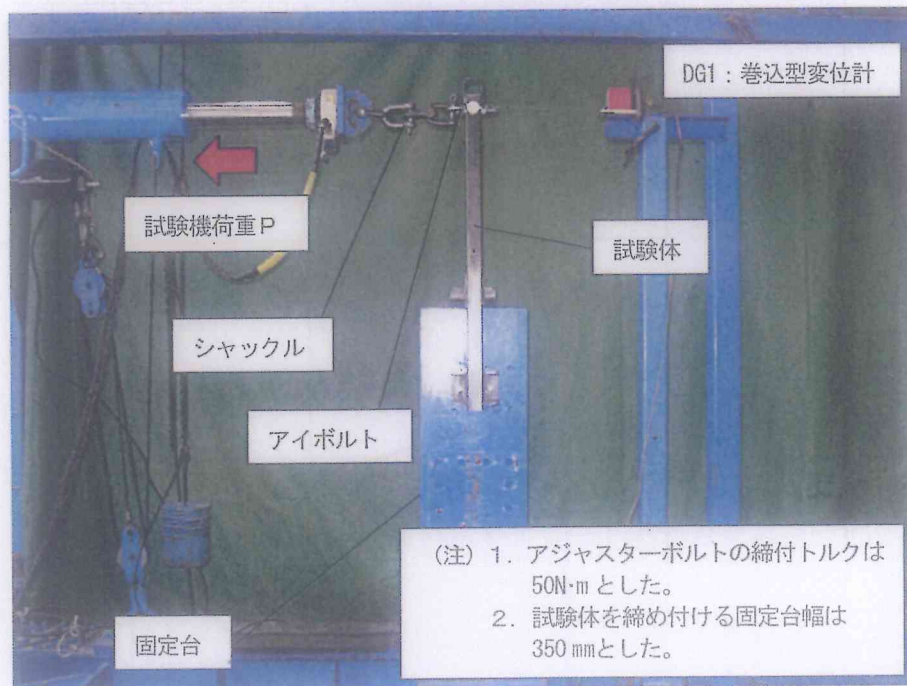
(依頼者提出資料)

図-1 試験体

試験体記号：S-H-A 及び S-H-B



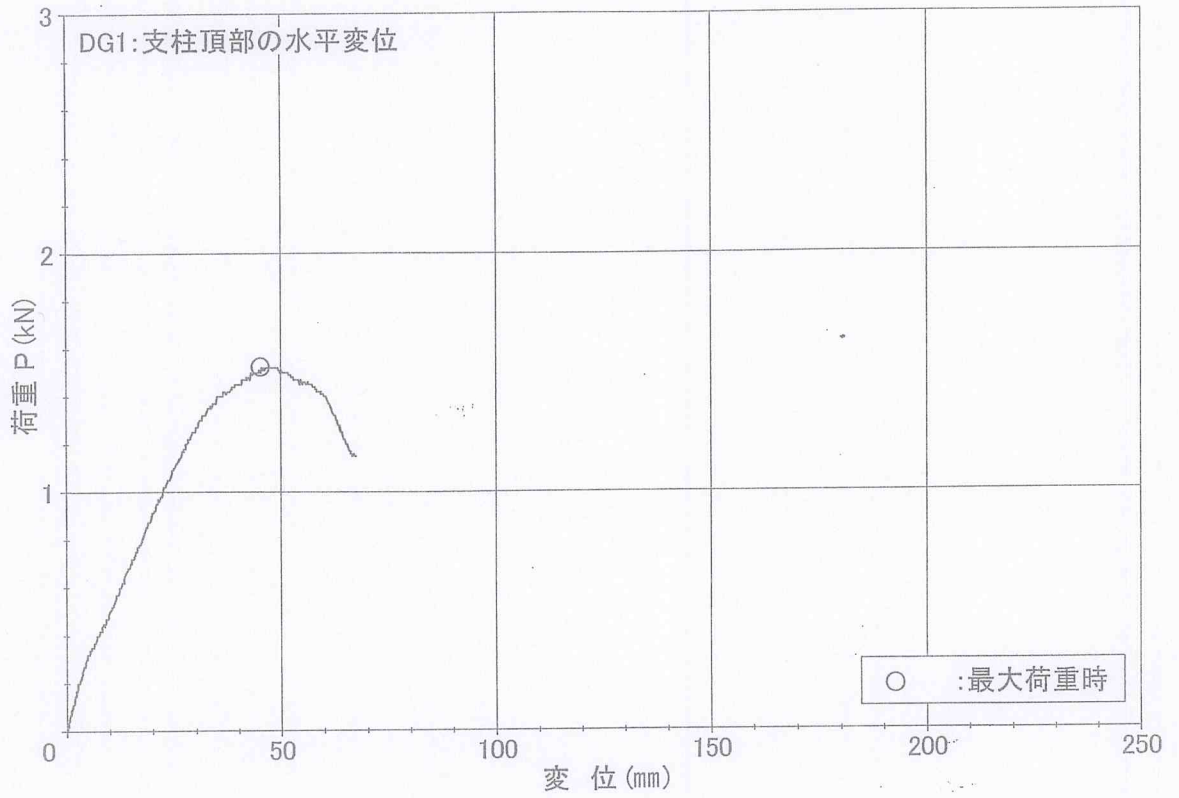
試験体記号：S-H-A



試験体記号：S-H-B

写真-1 試験方法

試験体記号：S-H-A



試験体記号：S-H-B

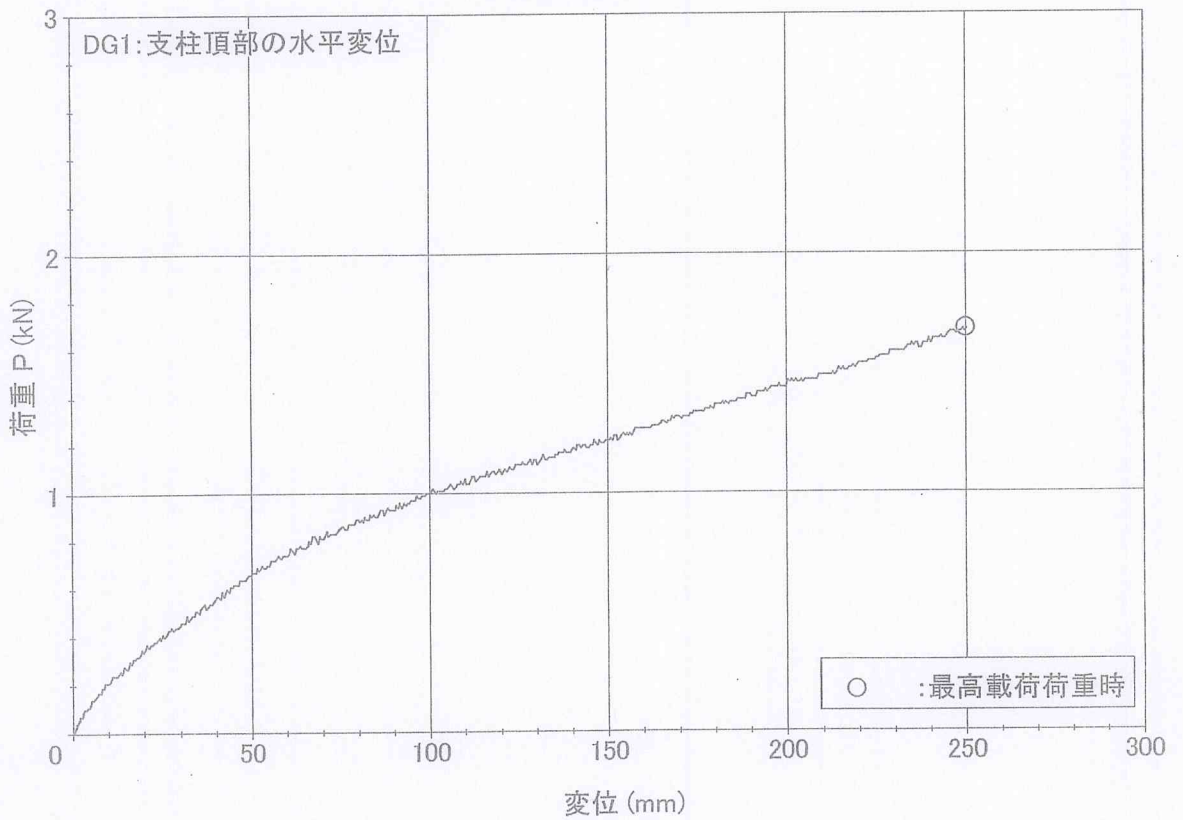


図-2 荷重-変位曲線

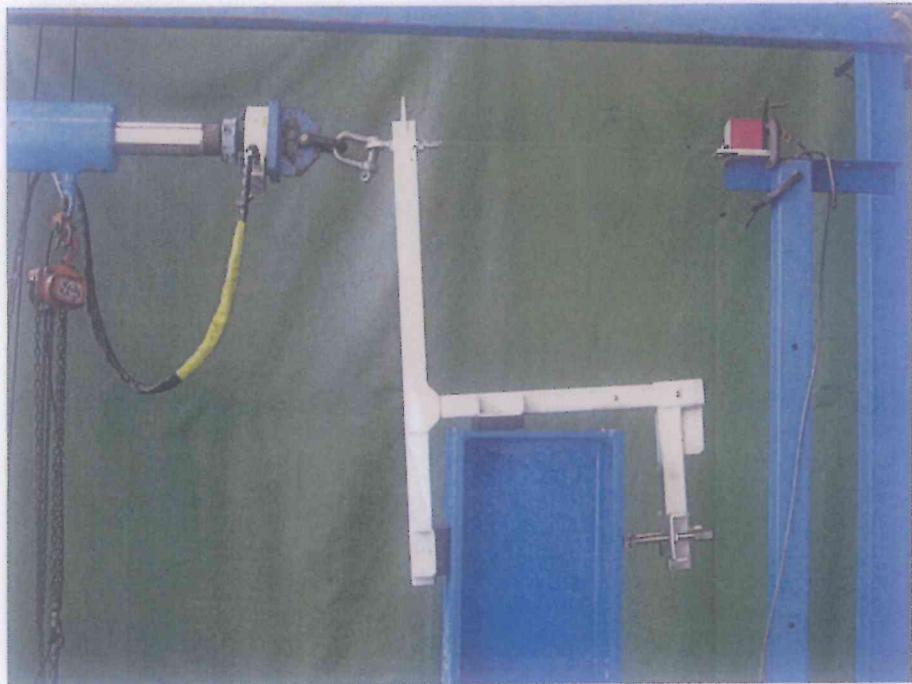


写真-2 破壊状況

試験体記号：S-H-A

$P_{max}=1.5kN$

・全 景



写真-3 試験体の状況

試験体記号：S-H-A

$P_{max}=1.5kN$

・アジャスターボルトゴムパッキンのはずれ

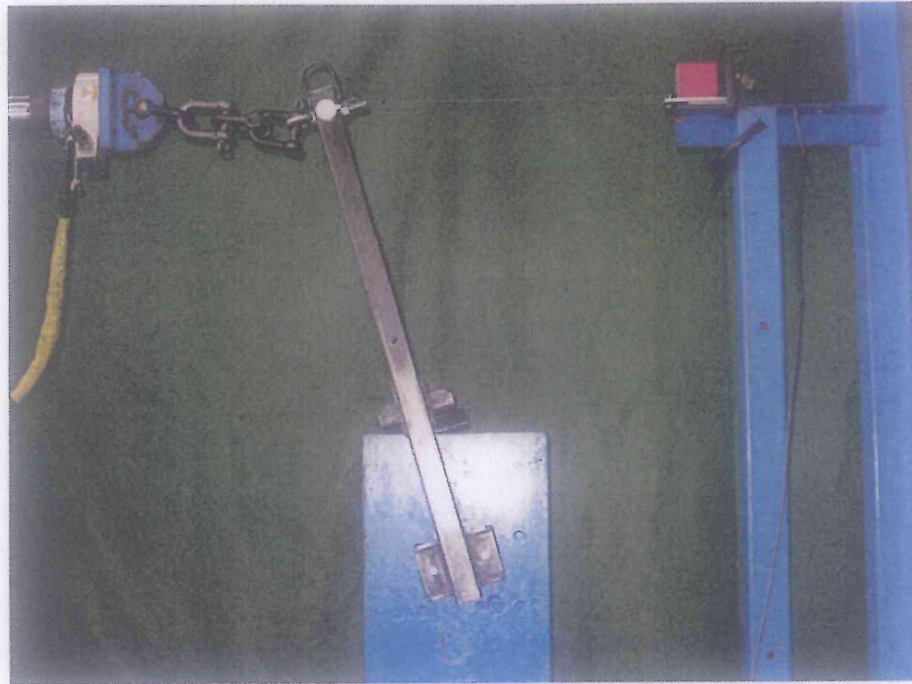


写真-4 最高載荷荷重時の破壊状況

試験体記号：S-H-B

P=1.7kN

・全 景

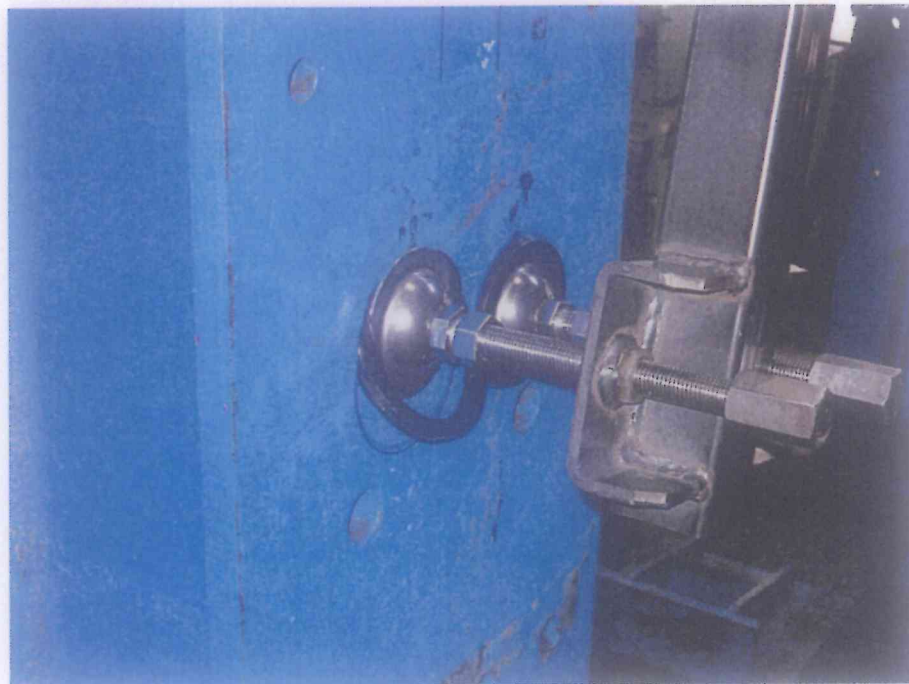


写真-5 最高載荷荷重時の試験体の状況

試験体記号：S-H-B

P=1.7kN

・アジャスターボルトゴムパッキンのはずれ

以下余白